

2018年11月9日 第251

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

定例「9の日」宣伝

安倍首相に憲法を語る資格なし

憲法9条があったからこそ平和が守られた 改憲阻止し、安倍政権を退陣に！

憲法共同センターは11月9日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い、9団体20人が参加。3000万人署名は37人分から寄せられました。北海道から修学旅行で東京にきていた男子高校生、通りがかりの女子高校生も署名してくれました。

日本共産党の山添拓参議院議員は「臨時国会の所信表明演説で安倍首相は、憲法は国の理想を語るものだと言ったが、そうではなく権力にたがをはめるものだ。憲法をご存じないようだ。安倍首相には99条で尊重擁護の義務がある。勝手に憲法を変えるのが国会議員の責任だと言うが安倍首相に憲法変えさせてはいけない」と強調しました。

全労連の小田川議長は「改憲の動きが急になってきた。安倍首相は9条に自衛隊を書き込むだけで何も変わらないと言うが、変わらないのなら書く必要はない。ねらいを隠している。数を頼りに決めさせてはいけない。そうさせないために署名に協力を」と呼びかけました。

全商連の今井常任理事は「平和でこそ商売繁盛ということで活動している。消費税増税に関係した議論がされているが、消費税は所得が低い人ほど負担が重く、生存権を脅かすことになり憲法違反だ」と指摘しました。

東京憲法会議の斎藤さんは「再び戦争をしないと決めた平和憲法があったからこそ、1人も殺さず、1人も殺すことがなかった。9条を生かし平和な社会に」と呼びかけました。

日本原水協の安井事務局長は「11月3日、憲法公布から72年を迎えた。70年以上たったから時代おくれで変えなければという意見もあるが、9条と平和を守りたいという国民の願いがあったからこそ平和が守られてきた。1人ひとりが『憲法守れと』と声をあげよう」と訴えました。

全日本民医連の木下事務局次長は「国民は社会保障や景気対策を要望していて、改憲など望んでいない。年金は引き下げられ、病院にかかれないという人もいる。誰もが安心して暮らせる、社会保障を充実させることが重要。そのためにも安倍首相を退陣に追い込もう」と呼びかけました。

最後に全労連の長尾副議長が「アメリカの中間選挙で投票に行かなかった人が『トランプ政権に打撃を与えるため』と投票に行った。『華氏119』という映画の中で『諦めた時に独裁者が出てくる』という場面がある。9条改憲阻止、安倍内閣退陣を求め、あきらめずに声を上げ続けよう」と呼びかけました。

